

令和2年度及び令和3年度（上半期）の取組結果

1 令和2年度の取組結果

(○:達成 ×:未達成)

KYOMS 取組項目	令和2年度			年度目標
		実績	前年度比	
①電気使用量の削減※ ¹	×	1,051.1 万 kWh	↓ 0.6%減	前年度比 1.0%削減
②都市ガス使用量の削減※ ¹	×	63.9 万 m ³	↑ 8.4%増	
③水道使用量の削減※ ¹	×	60.0 千 m ³	↑ 0.5%増	
④ガソリン使用量の削減	○	159.1 キロリットル	↓ 8.2%減	
⑤コピー用紙消費量の削減	×	405.7 トン	↑ 1.2%増	
グリーン調達 の推進※ ²	⑥消耗品	○	97.1%	固定:90.0%
	⑦備品	○	99.3%	固定:98.0%
⑧一般廃棄物排出量の削減※ ¹	○	70.9 トン	↓ 5.1%減	前年度比 2.0%削減
⑨缶・びん・ペットボトル等の 排出量の削減※ ¹	○	23.4 トン	↓ 13.5%減	

※1：KYOMS の取組は、市役所本庁（本庁舎・北庁舎・西庁舎・分庁舎）、本庁周辺ビル、区役所・支所、消防局本部庁舎、交通局本庁舎及び上下水道局本庁舎・太秦庁舎で運用している。

このうち、市役所本庁は庁舎整備中、本庁周辺ビルはテナントとして入居しており個別での実績値把握不可との理由から、※1の項目については評価の対象から除いている。その他の項目については、本庁舎及び周辺関連ビルを含めた全対象所属が評価の対象となっている。

※2：全購入額に占める環境対応品の購入額の割合

〔目標未達成項目の要因分析〕

- ・電気使用量：時差出勤の実施に伴う電気使用時間の増加など
- ・都市ガス使用量：空調機の不調や換気による稼働率の増加など
- ・水道使用量：手洗いの増加（新型コロナウイルス感染症対策）など
- ・コピー用紙消費量：新型コロナウイルス感染症対策関係部署の業務増加など

（参考）市役所本庁における評価対象外項目の実績

具体的取組項目	実績（前年度比）
①電気使用量の削減	243.3 万 kWh(△1.2%)
②都市ガス使用量の削減	21.0 万 m ³ (△3.0%)
③水道使用量の削減	19.0 千 m ³ (+62.8%)
⑧一般廃棄物排出量の削減	32.7 トン(△55.6%)
⑨缶・びん・ペットボトル等の排出量の削減	15.0 トン(△39.1%)

⑧一般廃棄物排出量、⑨缶・びん・ペットボトル等の排出量は執務室の移転作業に伴い、令和元年度の排出量が大きく増加したため、相対的に前年度比で大きく減少した。

③水道使用量は、本庁舎改修工事に伴い地下水ポンプを撤去し、令和2年度はトイレの洗浄水などに上水を使用したため、前年度比で大きく増加した。

2 令和3年度上半期の取組結果

(○:達成 ×:未達成)

具体的取組項目		令和3年度上半期		年度目標
		実績	前年度比	
①電気使用量の削減 ^{※1}	○	518.9万 kWh	↓ 2.2%減	前年度比 1.0%削減
②都市ガス使用量の削減 ^{※1}	○	28.5万 m ³	↓ 9.0%減	
③水道使用量の削減 ^{※1}	×	31.1千 m ³	↑ 0.2%増	
④ガソリン使用量の削減	○	77.6キロリットル	↓ 3.7%減	
⑤コピー用紙消費量の削減	○	174.2トン	↓ 11.2%減	
グリーン調達 の推進 ^{※2}	⑥消耗品	○	92.9%	固定:90.0%
	⑦備品	○	100%	固定:98.0%
⑧一般廃棄物排出量の削減 ^{※1}	○	30.2トン	↓ 7.5%減	前年度比 2.0%削減
⑨缶・びん・ペットボトル等の 排出量の削減 ^{※1}	○	12.2トン	↓ 8.2%減	

※1：市役所本庁（本庁舎・北庁舎・西庁舎・分庁舎）及び本庁周辺ビルを評価対象から除く

※2：全購入額に占める環境対応品の購入額の割合

〔目標未達成項目の要因分析〕

- ・水道使用量：水道機器の故障など

（参考）市役所本庁における評価対象外項目の実績

具体的取組項目	実績（前年度比）
①電気使用量の削減	153.5万 kWh(+20.1%)
②都市ガス使用量の削減	10.1万 m ³ (+8.7%)
③水道使用量の削減	10.2千 m ³ (+0.4%)
⑧一般廃棄物排出量の削減	25.5トン(+129.8%)
⑨缶・びん・ペットボトル等の排出量の削減	9.6トン(+6.3%)

執務室の移転作業に伴い、特に⑧一般廃棄物排出量が大きく増加した。

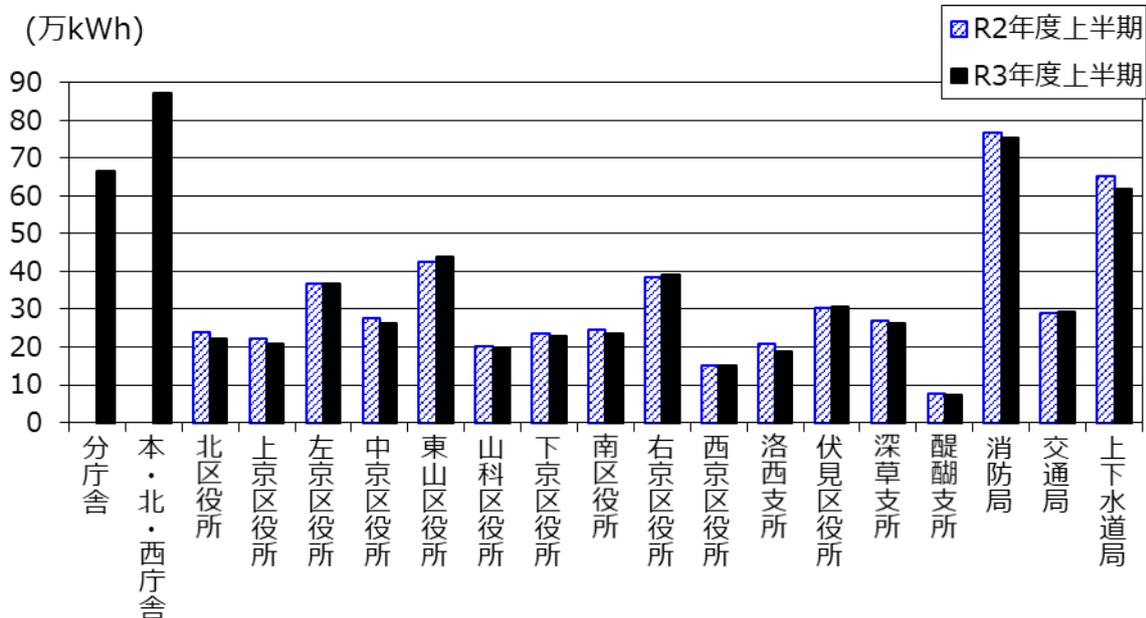
また、本庁舎が新しくなったことに伴い、設備機器の試運転を行った影響で①電気使用量が増加したと考えられる。

3 局区等ごとの取組結果（令和2年度及び令和3年度 上半期）

(1) 市役所本庁及び本庁周辺ビルを除いた評価項目

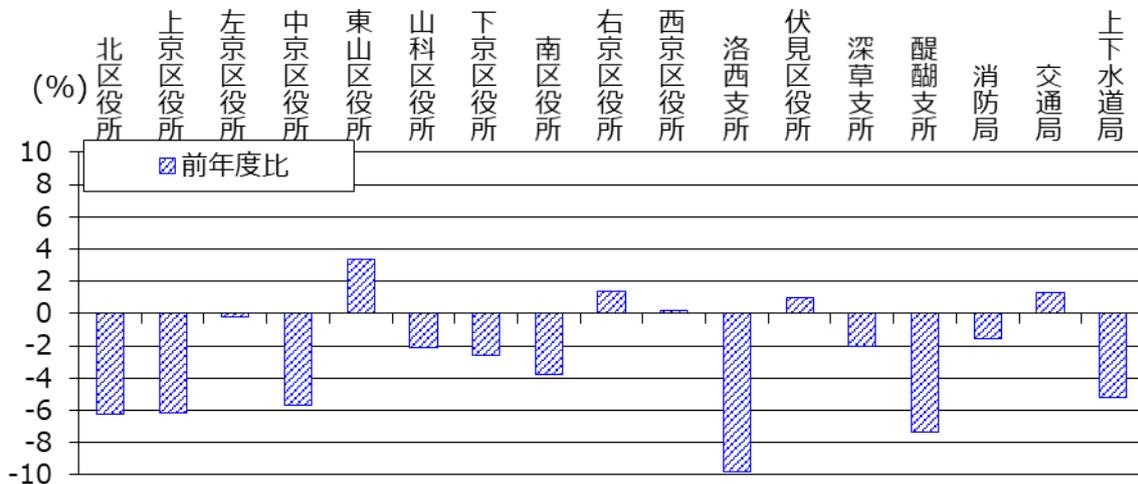
① 電気使用量の削減

【令和2年度上半期及び令和3年度上半期 電気使用量（万 kWh）】



※ 本庁（分庁舎，本・北・西庁舎）は参考として R3 年度実績のみ記載。

【前年度からの増減率（%）】

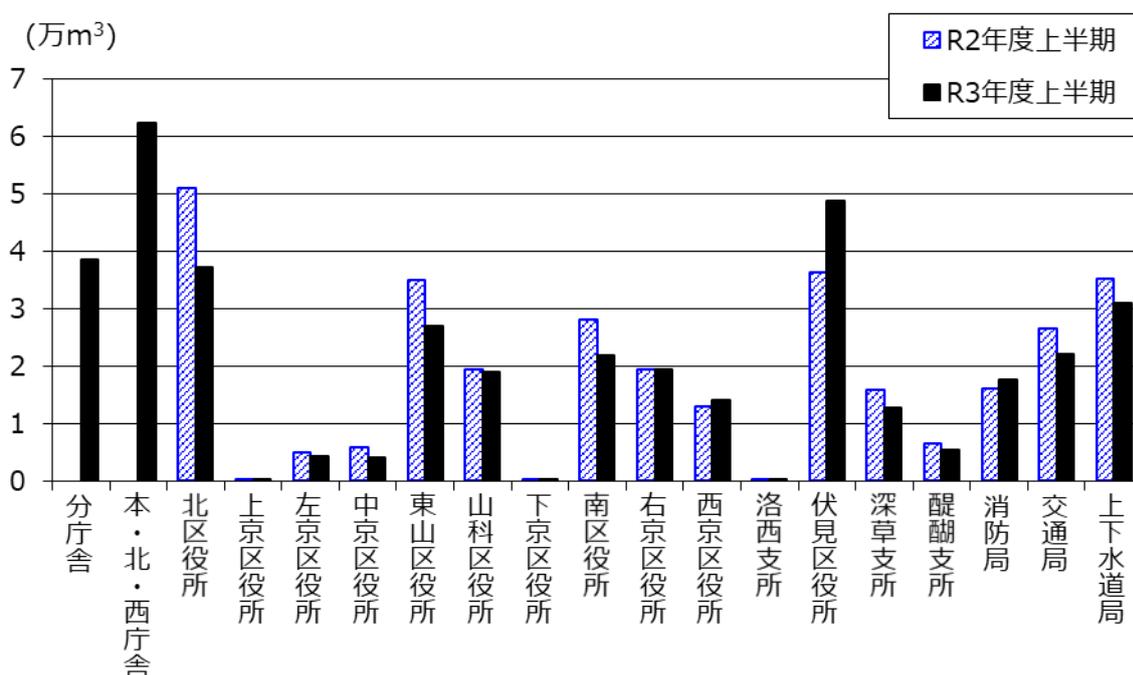


<参考> 主な削減対策例

- ・ 照明のLED化，間引き
- ・ 始業前，昼休みの消灯
- ・ 空調稼働時間の短縮，空調の温度管理の徹底
- ・ サーキュレーターを導入による空調効率の向上
- ・ プリンター，コピー機，パソコン等の省電力モードの活用
- ・ 離席時のパソコンのスタンバイ（スリープ）モード活用
- ・ 定時退庁日における，定時退庁の徹底

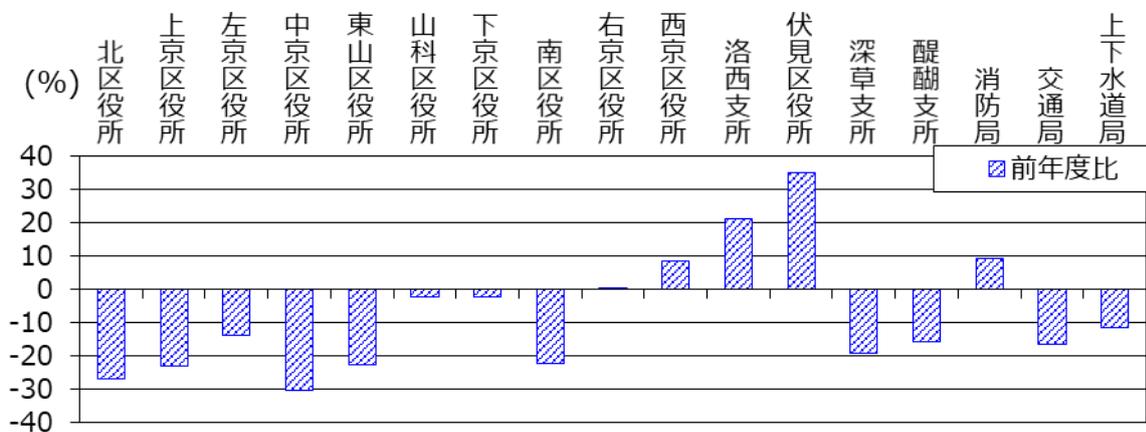
② 都市ガス使用量の削減

【令和2年度上半期及び令和3年度上半期 都市ガス使用量（万m³）】



※ 上京区役所，下京区役所，洛西支所は空調がガス式でないため，使用量が少ない。
本庁（分庁舎，本・北・西庁舎）は参考として R3 年度実績のみ記載。

【前年度からの増減率（％）】

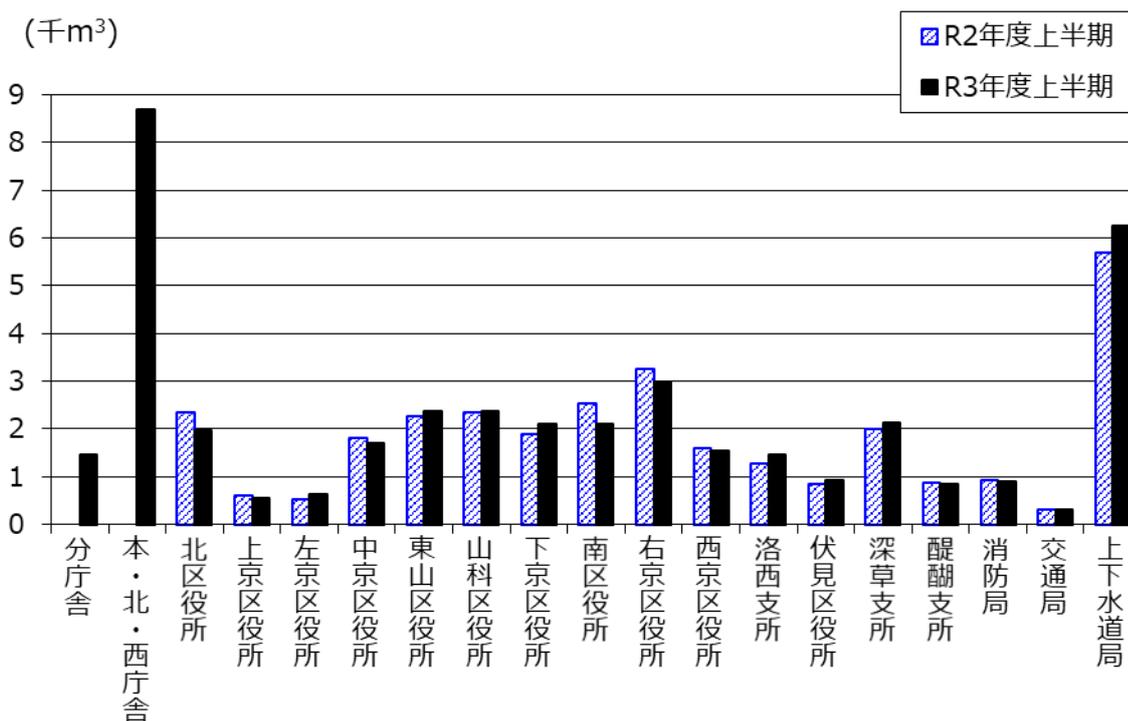


<参考> 主な削減対策例

- ・ 室温管理（夏季28度，冬季19度）の徹底
- ・ 空調稼働時間の短縮
- ・ サーキュレーターへの導入による空調効率の向上
- ・ 給湯器の適正な使用
- ・ 定時退庁日における，定時退庁の徹底

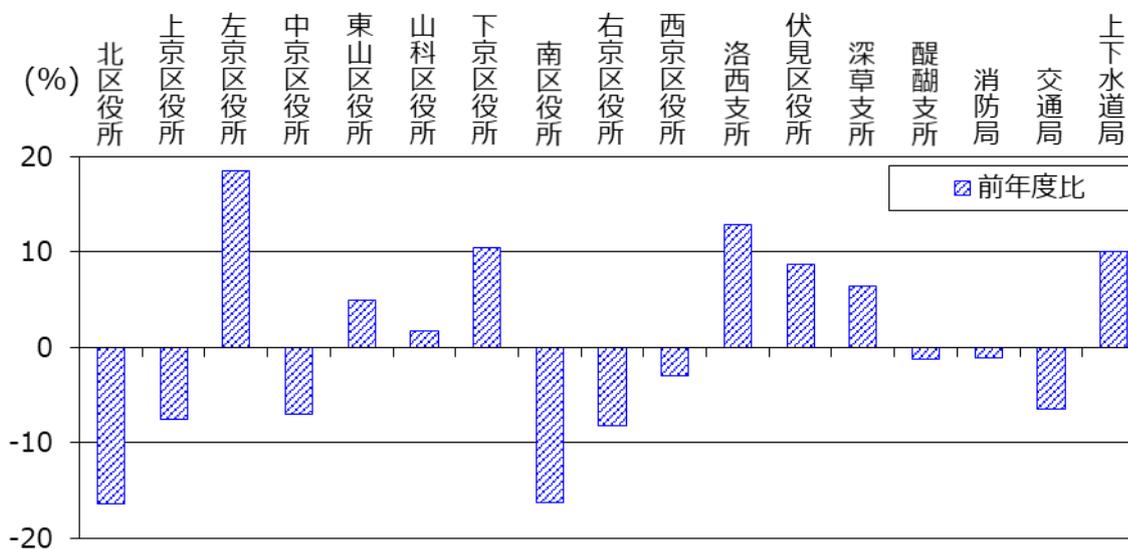
③ 水道使用量の削減

【令和2年度上半期及び令和3年度上半期 水道使用量（千m³）】



※ 本庁（分庁舎，本・北・西庁舎）は参考としてR3年度実績のみ記載。

【前年度からの増減率（%）】

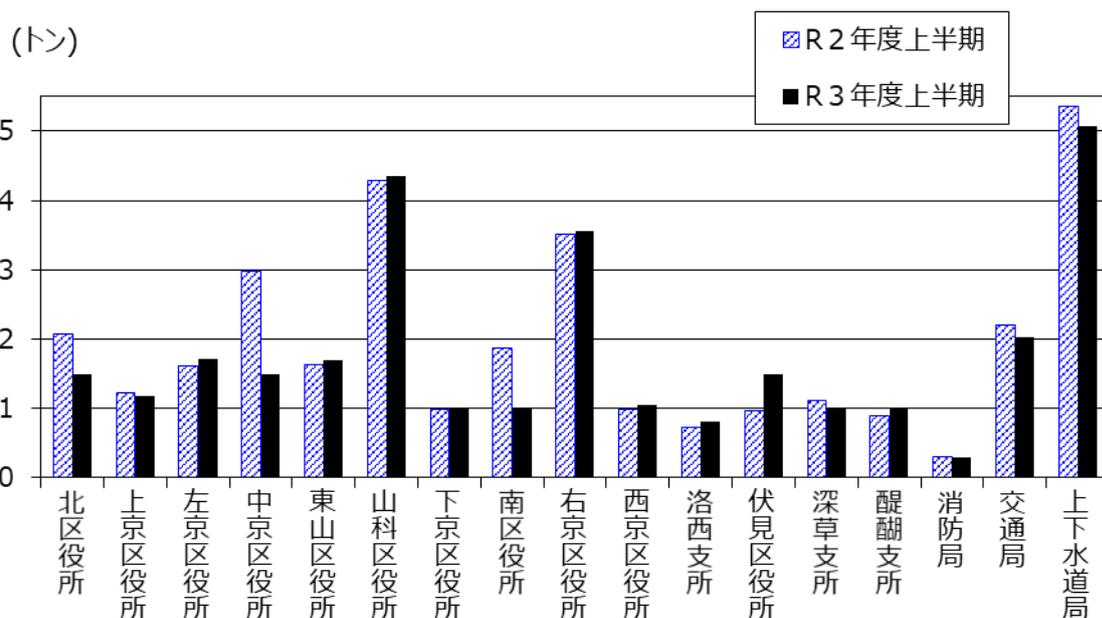


<参考> 主な削減対策例

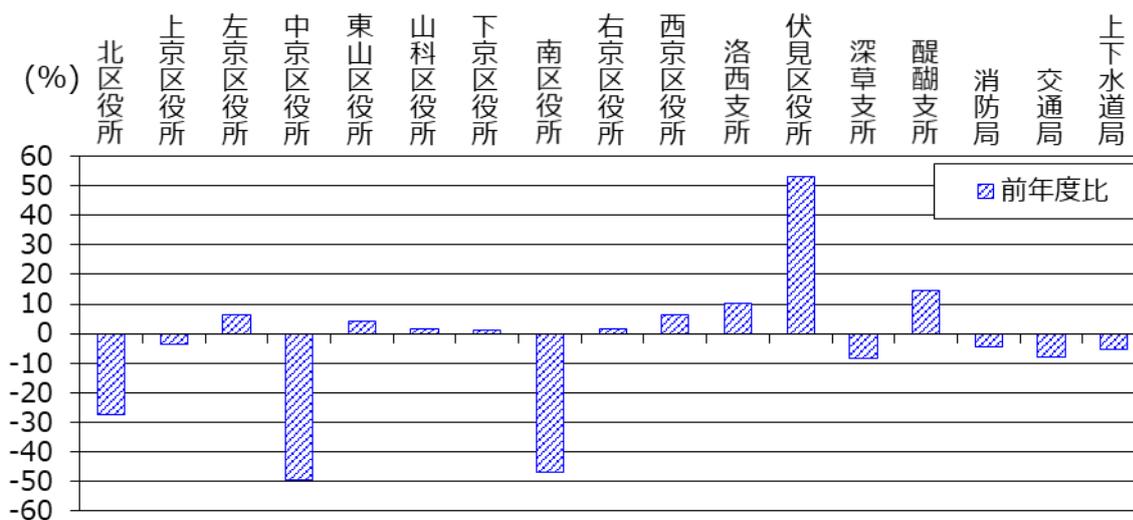
- ・ 節水に向けた職員への周知徹底
- ・ 漏水の点検
- ・ トイレにおける節水型自動水栓設備への更新
- ・ 雨水利用設備の導入

⑧ 一般廃棄物排出量の削減

【令和2年度上半期及び令和3年度上半期 一般廃棄物の排出量（トン）】



【前年度からの増減率（％）】

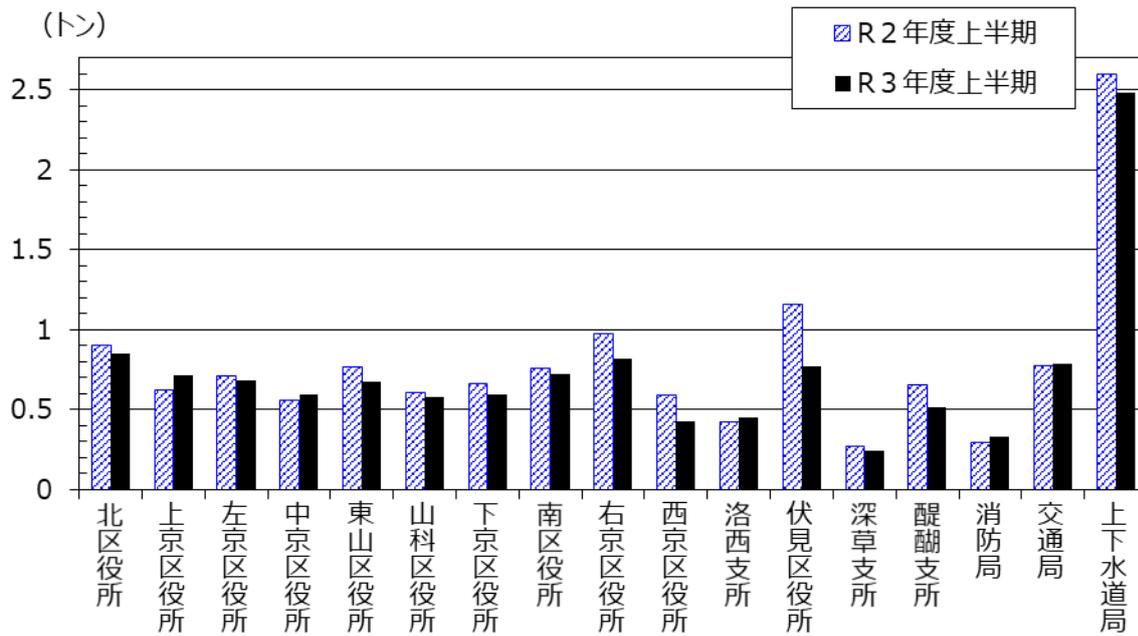


<参考> 主な削減対策例

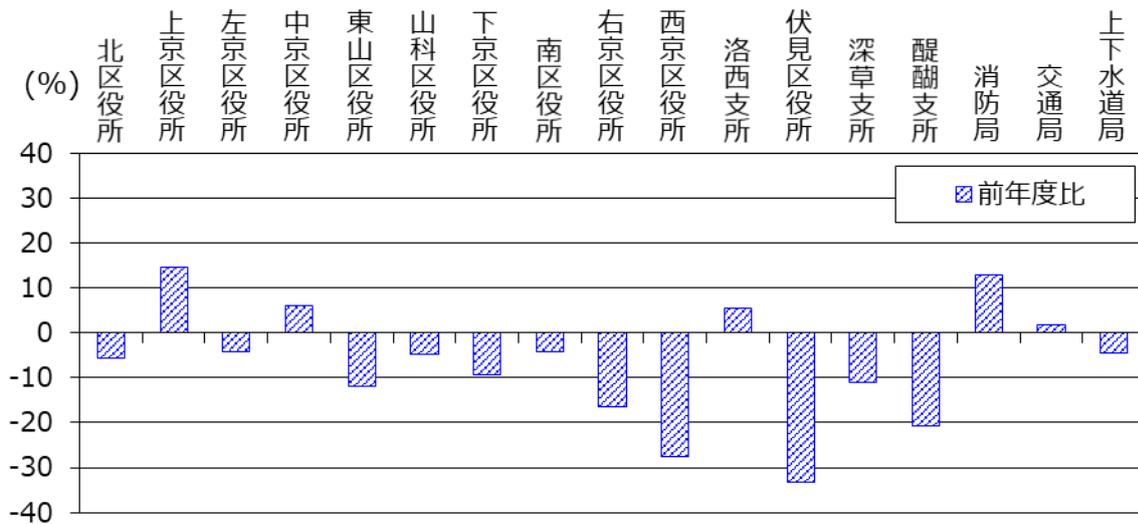
- ・ 職員に対するごみの減量，分別徹底の再周知
- ・ 庁舎内のごみ箱の集約（個数を減らす）
- ・ ファイルや文房具類等の再利用

⑨ 缶・びん・ペットボトル等（資源物）の排出量の削減

【令和2年度上半期及び令和3年度上半期 缶・びん・ペットボトル等の排出量(トン)】



【前年度からの増減率 (%)】



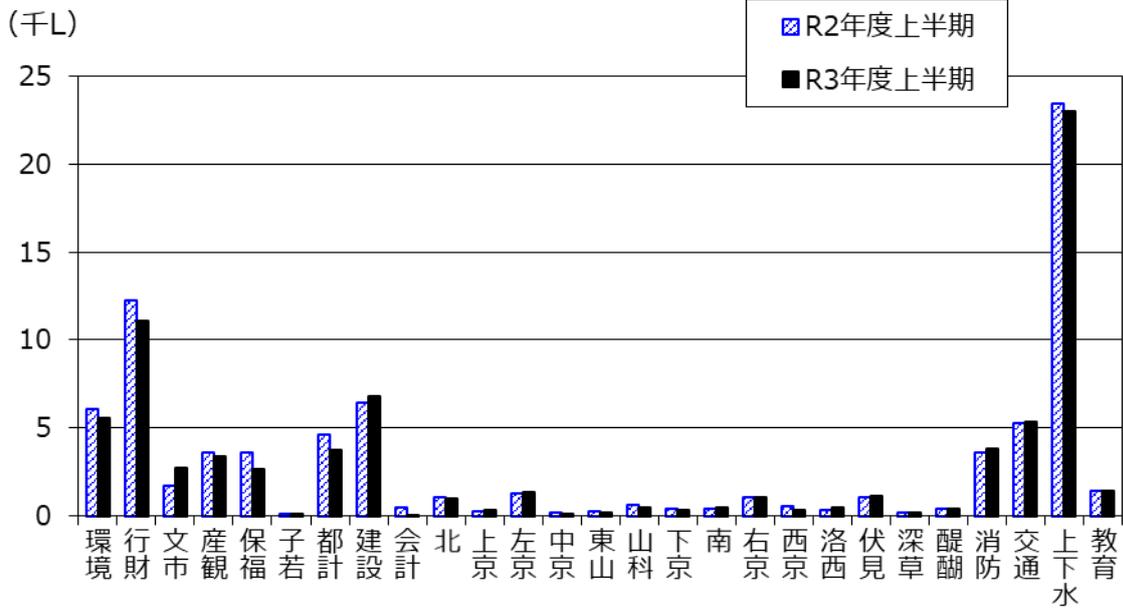
＜参考＞ 主な削減対策例

- ・ 職員に対するごみの減量，分別徹底の再周知
- ・ 庁舎内のごみ箱の集約（個数を減らす）
- ・ マイボトル，マイカップの携帯・使用
- ・ プラスチック製ストロー，スプーン，フォーク等の使用抑制
- ・ 審議会，ワークショップ等におけるペットボトルの使用抑制
- ・ エコバッグの活用，ノーレジ袋の徹底

(2) 市役所本庁及び本庁周辺ビルを含めた全対象所属の評価項目

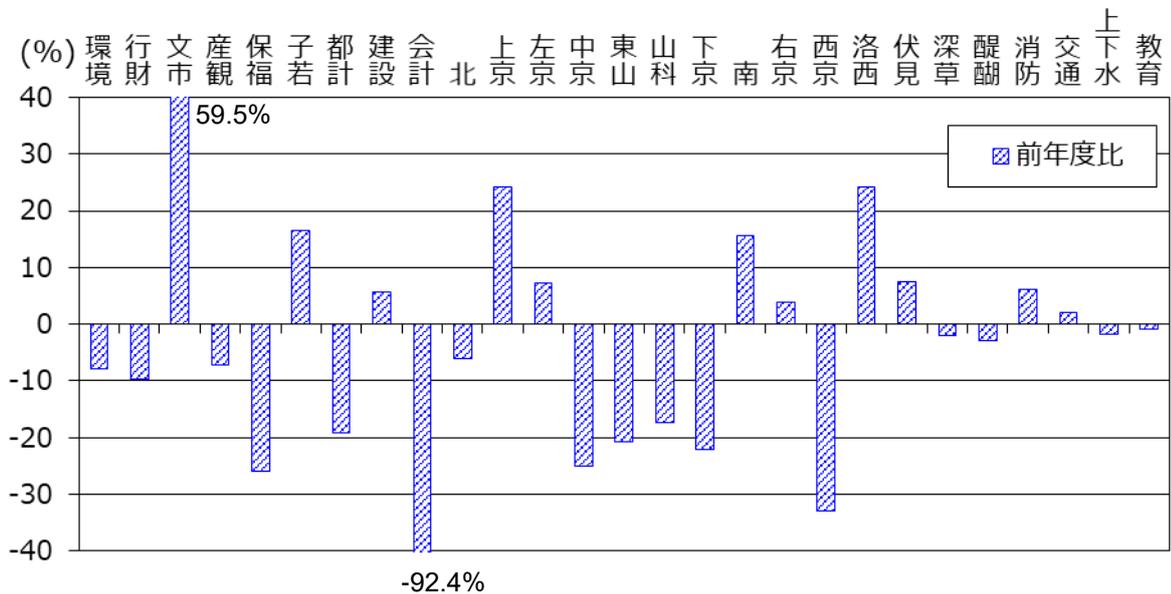
④ ガソリン使用量の削減

【令和2年度上半期及び令和3年度上半期 ガソリン使用量（千L）】



※ 表記のない局等は公用車を所有していない。

【前年度からの増減率（％）】



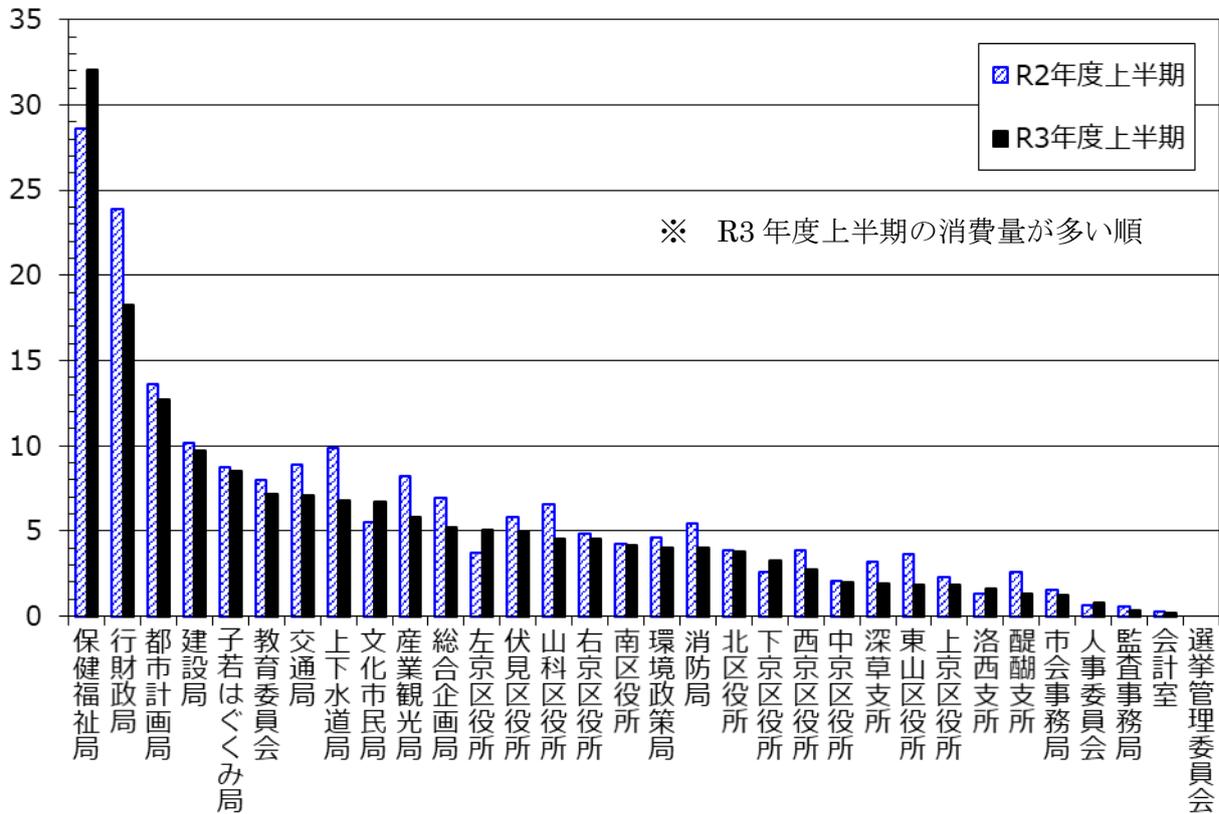
<参考> 主な削減対策例

- ・ 公共交通機関，公用自転車の率先利用
- ・ エコドライブ（ふんわりアクセル，早めのアクセルオフ等）の徹底
- ・ 車両更新時におけるエコカーへの転換
- ・ 公用車台数の見直し

⑤ コピー用紙消費量の削減（令和3年度重点項目）

【令和2年度上半期及び令和3年度上半期 コピー用紙消費量（トン）】

(トン)

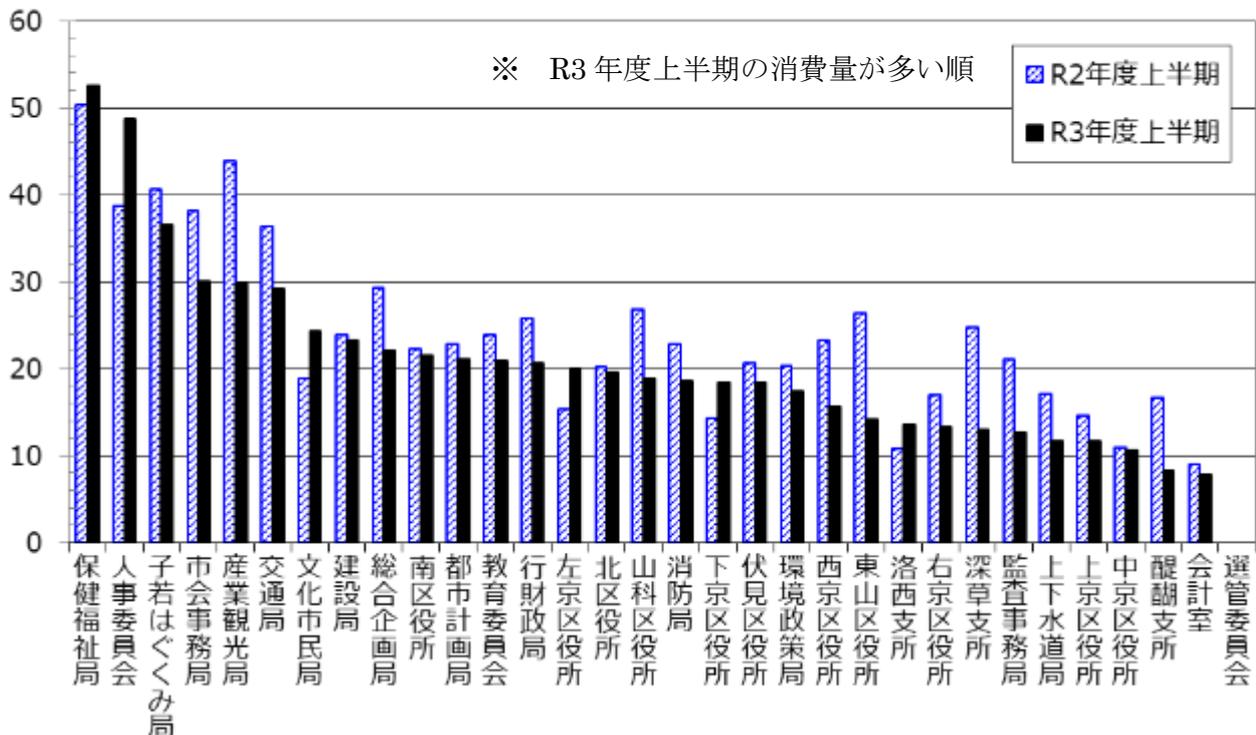


※ 選挙管理委員会事務局は令和3年度上半期での購入なし

【(参考) 令和2年度上半期及び令和3年度上半期 1人当たりのコピー用紙消費量(kg)】

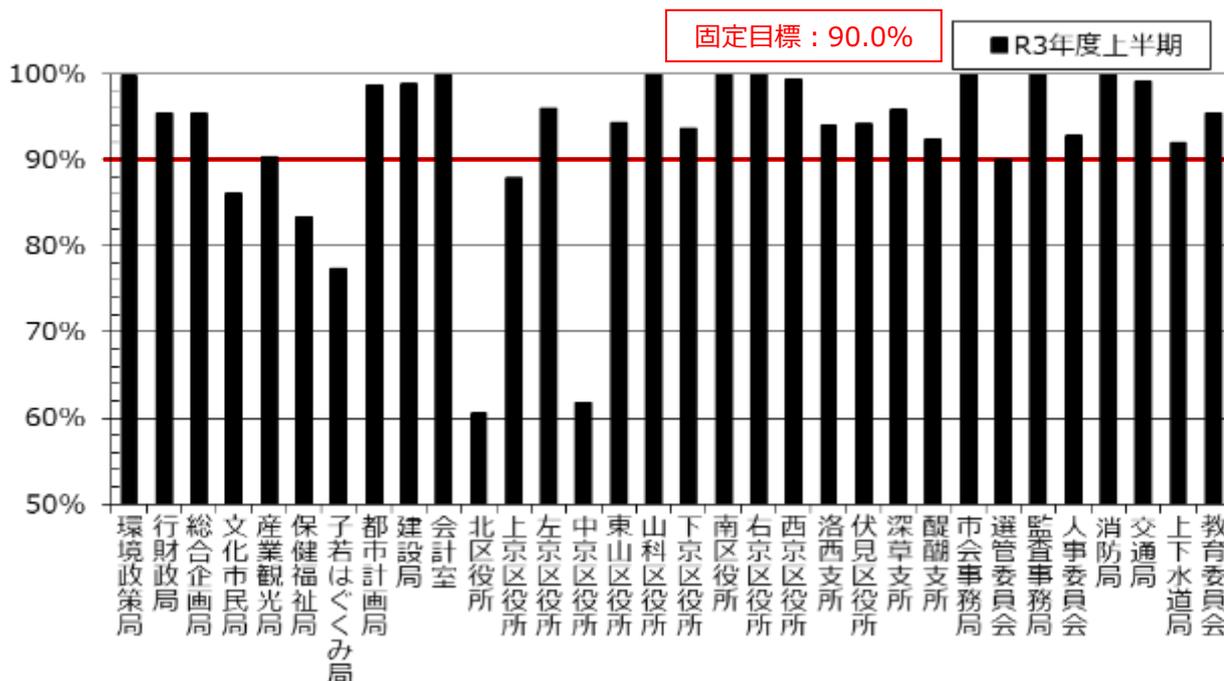
※ オフィス系関連庁舎に在籍する職員を対象

(kg/人)



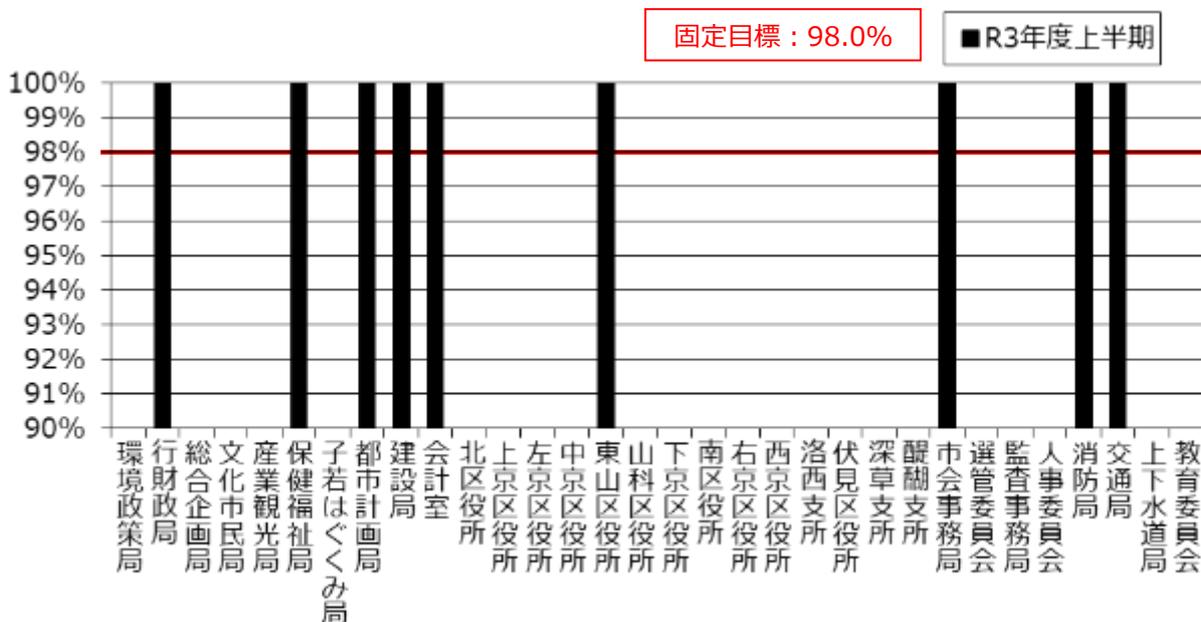
⑥ グリーン調達の推進（消耗品）

【各局区等における消耗品の環境対応品購入率（％）】



⑦ グリーン調達の推進（備品）

【各局区等における備品の環境対応品購入率（％）】



※ グラフのない局区等は令和3年度上半期に備品調達がない。

<参考> 主な推進対策例（消耗品・備品）

- ・ 職員への「京都市役所グリーン調達推進方針」の再周知
- ・ 調達時における環境対応品の確認
- ・ 集中購買制度の活用
- ・ 財務会計システムへの適正な入力